

[普及事項]

新技術名：「シャインマスカット」における良質な房作りのためのジベレリン処理

(平成28年)

研究機関名 果樹試験場生産技術部、品種開発部
担 当 者 中澤みどり、原加寿子

[要約]

「シャインマスカット」の1回目のジベレリン処理は、開花50%の花穂に対する処理では収穫果房の果軸の曲がりが多く見られるが、80%以上が開花した花穂に対して処理した場合、果軸の曲がりの少ない良質な果房を得ることができる。

[対象範囲]

県内シャインマスカット生産者、普及指導機関

[ねらい]

「シャインマスカット」の1回目のジベレリン処理適期は、花穂の房尻まで8割以上開花した満開からその3日後までであるが、現場では処理適期が短いことや、他品種のジベレリン処理と重なり、作業が集中することから開花率が8割以下の花穂に処理してしまうケースが多い。そこで、処理適期に満たない花穂にジベレリン処理をした時の収穫時の房の形状や果実品質について調査する。

[技術の内容・特徴]

1 ジベレリンの処理時期が「シャインマスカット」の50%開花区は100%開花区や80%開花区に比べて1粒重が小さくやや小さい果房となった(表1)。いずれの処理区も収穫時の果粒には、種入りは認められなかった(データ略)。

2 「シャインマスカット」を軸の曲がり具合(図1)から、

指数1：一般的な梱包で出荷できるもの

指数2：果房の向きを注意して梱包して出荷できるもの

指数3：梱包して出荷できないもの

に区分すると、50%開花区では、指数3に相当する果房が多くなる(図2)。果軸の曲がりが少ない良質な果房を得るためには、1回目のジベレリン処理を80%以上花蕾が開花したものに對して行う。

[成果の活用上の留意点]

1 シャインマスカット／テレキ5BBの1年生苗を2008年4月に定植したH字型整枝短梢せん定樹を用いた。樹勢は、弱～中で試験時樹齢は9年生である。

2 本技術は、主穂の花穂に対して検討した。

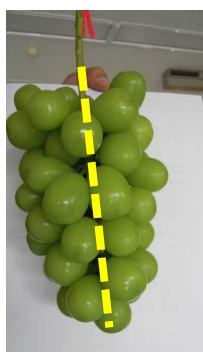
3 「シャインマスカット」以外の品種では、本技術は適用できない。

[具体的なデータ等]

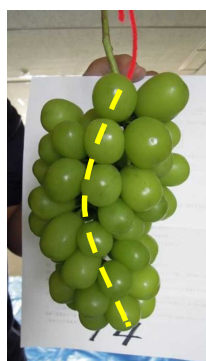
表 1 1 回目ジベレリン処理時の開花状況と収穫時の果実品質（平成28年）

	ジベレリン処理時	収穫時の果実品質						
	開花状況 (%)	果房重 (g)	果房長 (cm)	全粒数 (個)	1粒重 (g)	果皮色 (cc)	糖度 (Brix%)	酒石酸 (g/100ml)
100%開花区	100.0	574.9	17.1	43.6	13.1	4.0	17.8	0.19
80%開花区	83.7	603.9	17.4	45.1	13.3	4.2	18.3	0.20
50%開花区	54.1	527.9	16.7	41.7	12.6	4.3	18.8	0.19

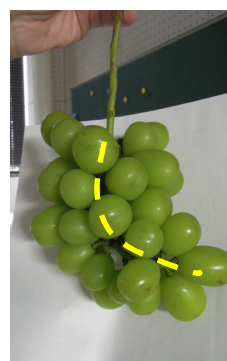
1 回目のジベレリンは、6 月 13 日にジベレリン 25ppm、フルメット 2.5ppm、ストレプトマイシン 200ppm を、2 回目のジベレリンは、6 月 29 日にジベレリン 25ppm、フルメット 2.5ppm を各区 40 果房について処理した。果房重、果房長については、収穫時の果房重が著しく異なるものをスミルノフ・グラブス検定により棄却してから平均を求めた。その他の果実品質は、各区 12 果房について調査した。



指数 1



指数 2



指数 3

図 1 「シャインマスカット」の軸の曲がり具合（平成 28 年）

指数 1：一般的な梱包で出荷できるもの。

指数 2：果房の向きを注意して梱包して出荷できるもの。

指数 3：梱包して出荷できないもの。

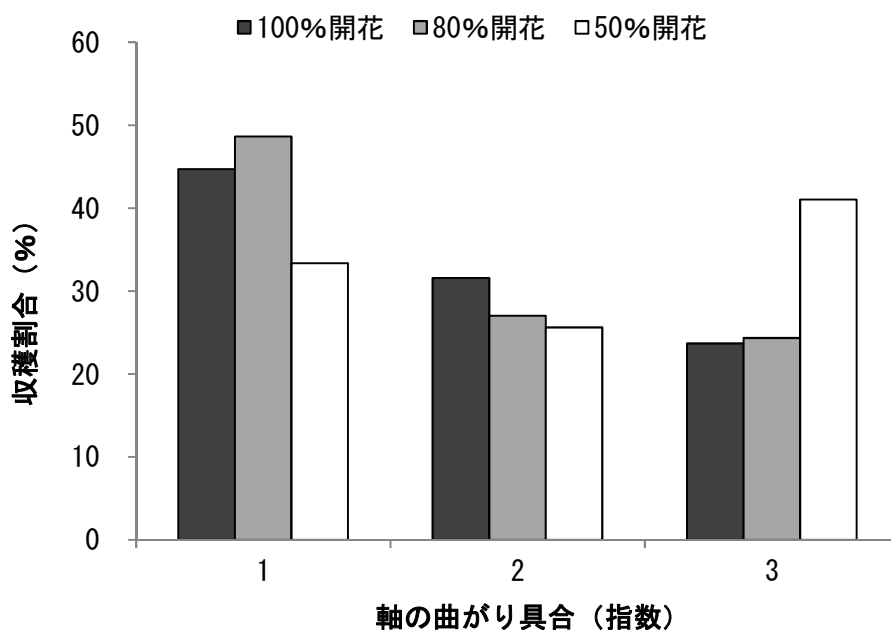


図 2 開花状況別にジベレリン処理した「シャインマスカット」の軸の曲がり具合の分布（平成 28 年）

[発表論文等]

なし